

1. 測定調査の概要

(1) 日程

- 7/12 (日) …… 講習会・測定ワークショップ (1)
- 18 (土) …… 講習会・測定ワークショップ (2)
- 8/ 8 (土) …… 測定日 5:00~20:00
- 9 (日) …… 測定予備日
- 平成27年度内 …… 報告会の開催、報告書ならびに提言書を作成

(2) 測定地点について (図-1)

測定地点は以下の約155地点です。

- ・名古屋市全域 2kmメッシュ毎に1点(75点)
- ・東山の森一帯 500mメッシュ毎に1点(72点)
- ・海上の森地区 (6点)
- ・名古屋市大気自動観測点(2点)

これらのメッシュ(マス目)毎に1ヶ所ずつ気温測定地点を設けます。

またその他の特別測定地点として、海上の森等でも測定を行います。

同日、連携して、多治見市(25点)、春日井市(5点)、豊田市(40点)でも気温測定を行います。

(3) 測定方法と準備

気温を測るのは簡単そうに思えますが、実はなかなか難しいものです。

そのために測定道具の準備と、測定地点の選定が重要です。

3-1) 測定時間

- ・午前5時~午後8時までの毎正時に測定します。
- ・合計16回計測します。
- ・各自、時計を時報に合わせておいて下さい。

3-2) 測定地点の選定

受け持ったメッシュ(マス目)の中で、

①風通しが良く、すぐそばに建物などの障害物がないところ。

近くに建物や幹線道路があるところ、照り返しがあるところ、エアコンの室外機や排気口、噴水の近くなど、局所的に気温差があるところは避けてください。

②たとえば小公園のような地面が土や草地のところ。

③直射日光の当たらない木陰など。

木陰がなければ、黒い傘をさして日陰を作ります。

④温度計を樹木などに吊り下げ、地上高 約 1.5mの位置の空気の温度を測ります。

- ・上記の条件にあった測定場所を、測定日までに決めておいて下さい。
- ・測定条件をすべて同じにすることで、名古屋市全体の正確な気温が測定できます。

3-3) 各測定地点の設定

①東山の森一帯（500mメッシュ）地点の測定担当の方

あなたの受け持った測定マスの中のマル印区域内で測定場所を決めて下さい。
できるだけ正確な測定地点を地図上に赤色で書き込んで返信して下さい。

②名古屋市全域（2kmメッシュ）その他の地点の測定担当の方

あなたの受け持った測定マスの中で測定場所を決めて下さい。
できるだけ正確な測定地点を地図上に赤色で書き込んで返信して下さい。

3-4) 測定に用いる道具と準備

①温度計 あらかじめ標準温度計で検定を行い、番号をつけたものを貸し出しします。

- ・この番号をあなたの記録用紙に書き込んでください。
- ・温度計は必ず返却して下さい。返却先は巻末にあります。

②記録用紙 所定のを配布します。

③地 図 担当区域の地図を配布します。

④フード 放射や反射の熱を避けるため、配布した型紙で、各自手作りして下さい。

以下は、必要な場合に各自で準備してください。

⑤傘（黒っぽいもの） 木の下の日陰があれば不要ですが、日射をさえぎるものがない場合に使用してください。また、太陽の向きが変わっても日陰になるように注意して下さい。

⑥約2mの3本の長い棒とビニールひも

温度計を吊るす木の枝などが無い所では、長い棒で3脚を作ってください。

⑦吹き流し 風向・風力を測ります。

- ・配布したテープを紐に付け、1mの棒の先に固定してください。
- ・100cmの棒の先に、120cmのテープを固定し、上方にかざして、地上約3mの高さの風向・風力を測定します。

⑧方位磁石 北を確かめます。風向き測定にも利用します。

⑨ウチワ フード内に通風するために使います。

- ⑩その他 筆記用具、虫めがね、懐中電灯（ヘッドランプがベター）、弁当、水筒など、目覚まし時計（またはタイマー）、虫除け、日よけ対策、椅子。また、熱中症対策を忘れずに。

熱中症予防方法

熱中症は、塩分不足や水分不足などで熱を体外に出せなくなって起こります。

主な症状 疲労感 吐き気 めまい 顔面そう白 筋肉の突っ張り、発汗停止

40℃以上の高熱 意識混濁 意識不明 呼吸停止

予 防 高温多湿の場所などは避け、まめに水分・塩分をとる。

応急手当 風通しのよい日陰に移動させる。顔が赤い時は頭を高くする。冷水などで冷やす。スポーツドリンクなどを飲ませる。

※早急に医療機関へ行くこと。

3-5) 測り方

・測定は、気温→風向→風力→天候 の順に行ないます。

1. 気温
- ・測定3分前から、フード下部からウチワで風を送り続けます。
 - ・また、傘で直射日光をさえぎっているところでは、

測定10分前から傘で日陰にしてください。

- ・温度計の読み取りは、00.0℃まで読みます。
- ・読み取り方は、水銀の先端と目の高さと同じにして、通風孔からフードの中をのぞき込んで行います。
- ・温度計を直接に手で持ったり、息を吹きかけたりしないように注意して下さい。
- ・この時、温度計の上部のタコ糸を親指と人差し指でよじりながら、目盛りの見やすい切り込み窓に合わせてやると、楽に読み取りができます。
- ・記録用紙にデータを記入したら、もう一度、見まちがい、記入まちがいがないか、必ずチェックして下さい。

2. 風向
- ・手作りした吹き流しの棒を持って、手を上方いっぱい伸ばし、吹き流しのたなびく方向を調べます。結構フラフラ、クルクルしますが、1分間ほどみて、おおよその平均的な方向を決めます。
 - ・北西から南東へ吹く風の風向きは「北西」です。

- ・微風で吹き流しがたなびかないときも、かすかに体に感じる風向きを記入して下さい。

3. 風力 ・ビューフォート風力階級の表（記録用紙の裏面）を見て、目視によって、風力階級を決めます。風には息がありますので、吹いた時の風力で決めて下さい。

ビューフォート風力階級

階級	風速m/s	陸 上
0	0.3 未満	静穏，煙はまっすぐに昇る。
1	0.3～1.6 未満	風向は煙がなびくのでわかるが風見には感じない。
2	1.6～3.4 未満	顔に風を感じる。木の葉が動く。風見も動き出す。
3	3.4～5.5 未満	木の葉や細かい小枝絶えず動く。軽い旗が開く。
4	5.5～8.0 未満	砂ぼこりが立ち，紙片が舞い上がる。小枝が動く。
5	8.0～10.8 未満	葉のある灌木が揺れ始める。池や沼の水面に波頭が立つ。
6	10.8～13.9 未満	大枝が動く。電線が鳴る。傘は差しにくい。
7	13.9～17.2 未満	樹木全体が揺れる。風に向かっては歩きにくい。
8	17.2～20.8 未満	小枝が折れる。風に向かっては歩けない。
9	20.8～24.5 未満	人家にわずかな損害が起こる（煙突が倒れ、瓦がはがれる）。
10	24.5～28.5 未満	陸地の内部では珍しい。樹木が根こそぎになる。人家に大損害が起こる。
11	28.5～32.7 未満	めったに起こらない。広い範囲の破壊を伴う。
12	32.7 以上	-

4. 天候 ・太陽が出ているか／雲に隠れているか、記入例にしたがって記入して下さい。
- ・夕立などのときは、温度計に水滴が付いていないことを確認して下さい。（水滴はふき取り、ウチワで通気してから測定して下さい）

2. 感想文について

- ・記録用紙の裏面に記入して下さい。

3. 測定ワークショップについて

- ・フードの作り方